Information

公益財団法人

大学コンソーシアム京都

公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

はじめに

京都には、数多くの大学・短期大学が集積しています。その都市特性を活かすため、京都市と大学を中心とした産学公の連携により、1994年に全国初の大学連携組織である「京都・大学センター」が設立され、単位互換事業やインターンシップ事業など、全国に先駆けて様々な事業を実施してきました。2010年7月には内閣府から認可を受け、公益財団法人に移行し、公益財団法人大学コンソーシアム京都（以下、「大学コンソーシアム京都」という）として、現在は約50の大学・短期大学に加え、地方自治体・経済団体も参画する全国最大規模の大学間連携組織に発展しています。

グローバル化や少子高齢化をはじめ、私たちをとりまく社会環境は大きく変化しており、幅広い視野を持って社会を担う人材の育成や留学生受入れの拡充、更には地方創生の推進拠点としての位置付けなど、大学・短期大学に求められる社会的要請はより一層高まりを見せています。このような中、各大学・短期大学が、それぞれの特長や個性を活かした教育の質向上に努めるとともに、京都地域全体の魅力を向上させるため、大学連携組織としての当財団の果たすべき役割はこれまで以上に大きくなっています。

これからも、大学コンソーシアム京都では、その時々の変化や大学・短期大学、学生や市民の皆様のニーズに対応しつつ、「大学のまち京都・学生のまち京都」の発展を目指し、事業を推進してまいります。

大学コンソーシアム京都の主な事業

- 教育事業
- FD・SD・高大連携事業
- 学生支援事業
- 国際事業
- 調査・広報事業
- その他事業

大学コンソーシアム京都の主な事業

教育事業

◆単位互換事業

約50の加盟校はそれぞれが特色ある科目を開設しています。それら科目の一部は大学コンソーシアム京都と加盟校との協定に基づく単位互換制度により、他大学・短期大学の学生も受講することができ、ここで得た授業科目の単位は自校の単位として修得したものとみなされます。大学コンソーシアム京都では、前身の「京都・大学センター」が発足した1994年から本制度を運用しており、多くの学生が利用しています。2015年度からPBL（Project Based Learning）の学習手法を取り入れた「京都世界遺産PBL科目」を、2020年度からは「京都ミュージアムPBL科目」を開設し、京都ならではの科目を提供しています。



京都の世界遺産を学びのフィールドとする「京都世界遺産 PBL 科目」

◆生涯学習事業（京（みやこ）カレッジ）

大学の授業科目を市民に提供する「シティーカレッジ」を1997年に京都市と協力して開始し、その後2007年から「京（みやこ）カレッジ」と名称を変え、高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応える生涯学習事業として実施しています。現在は、20年以上の歴史を持つ「京都学講座」をはじめ、加盟校により開講される特色ある授業や公開講座に毎年多くの市民が参加しています。2022年度からはリカレント教育プログラムの提供を開始しています。



京都の様々なテーマを取り上げる「京都学講座」

◆産学連携教育事業（旧インターンシップ事業）

大学コンソーシアム京都の産学連携教育プログラム（2024年度より名称変更）は、就職活動や単なる就業体験ではなく、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラムです。また、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として、加盟校等から多くの学生が受講しています。



企業・行政等の多種多様な業種での教育プログラム

産学連携教育プログラム　コース紹介

●プロジェクト企画実践コース

約5ヶ月間、企業・非営利組織（NPO・NGO等）が提示したテーマを実現するプロジェクト型のコースです。プロジェクトを通して、様々な角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることを目指しています。

●エクスターンシップ（就業体験）コース

企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO等）において2週間～1ヶ月程度の実習を行う短期実践型のコースです。事前学習、実習、事後学習という体系化された教育プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指しています。

FD・SD・高大連携事業

◆ＦＤ関連事業

大学コンソーシアム京都では1995年の設立当初より、加盟校と共に京都地域におけるFD活動を推進してきました。これまで「FDフォーラム」として、授業改善の取り組みや人的交流の場として提供してきましたが、第30回（2024年度開催）からは、SDの要素を加え「FD・SDフォーラム」として開催しています。今後は、教員・職員の役割分担や協働の実質化をさらに深めていきます。また、FD合同研修プログラムとして、加盟校の学長や副学長などの大学執行部層を対象とした「大学執行部塾」、新任教員をはじめ、広く大学教員として必要な知識の獲得を目的とした「テーマ別研修」、加盟校の枠を超えて教職員が交流する機会を提供する「京都FD交流会」などを実施しています。



日本最大級のFDイベント「FDフォーラム」



京都FD交流会



まんがFDハンドブック

◆ＳＤ関連事業

加盟校の大学職員を対象とした管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための様々な研修事業を展開しています。SD（Staff Development）分野で関心の高まっているテーマを採り上げ、基調講演及び分科会における事例報告や意見交換を通じて、大学職員のスキル向上や大学の枠を超えた情報交流の場を提供することを目的とした「SDフォーラム」、大学職員の能力向上や基礎知識の獲得を目的とした「SD共同研修プログラム」、次世代の大学運営を担う職員の育成を目的とする「SDゼミナール」などを実施しています。



SDゼミナール「公開プレゼンテーション」



SD共同研修プログラム「ビジネスマナー研修」



SDガイドブック

◆高大連携事業

学校間競争や個別の利害関係を乗り越え、「産官学」という京都ならではの『面と面の連携』による人材育成を目指し、2003年に京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、大学コンソーシアム京都が連携して「京都高大連携研究協議会」を発足しました。主な事業として、高校・大学間の連携・接続教育問題における国内動向の情報共有や、京都における取組の情報発信を目的として、「高大連携教育フォーラム」を開催しています。

その他にも、高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を超えた交流を目的とした高大社連携キャリア教育企画「高大社連携フューチャーセッション」や、学校や設置者の別を超えて各校の課題や悩みを共有し、解決に向けた交流を行う場としての「京都高校・大学職員交流会」、高大接続（入試・教育・高大連携等）を実現できる人材開発とネットワーク化を目的とした研修事業を実施しています。2025年度には、加盟大学および京都府内の高等学校への調査を実施し、高校生を対象とする主体的な学びの実現に寄与する高大連携事業の検討を行います。



高大連携教育フォーラム



高大社連携フューチャーセッション



高校・大学教職員交流会

学生支援事業

◆京都学生祭典

京都学生祭典は、学生の力で京都を盛り上げようと2003年から毎年10月、平安神宮・岡崎公園一帯（京都市左京区）をステージに繰り広げられる一大イベントです。祭典は、京都の学生を中心に構成する実行委員会が企画・運営を行い、京都府、京都市、経済界、大学が「オール京都」体制でバックアップしています。実行委員会は、祭典のPRや地域との交流など年間を通して活動しており、大学コンソーシアム京都では、学びの場の提供など実行委員会の活動を支援しています。



京都学生祭典本祭（平安神宮前ステージ）

◆京都国際学生映画祭

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭です。実行委員会は、国内外を問わず、広く学生監督らの映画・映像作品をコンペ形式で募集・選考を行い、京都国際学生映画祭（2月開催）で上映することで、京都から若き才能の発掘と映画文化の発信、映画人材の国際交流を目指しています。大学コンソーシアム京都は、京都国際学生映画祭の主催者として、実行委員会の年間を通した活動をサポートしています。



京都学生祭典本祭　京炎みこし

◆障がい学生支援

2016年4月に「障害者差別解消法」が施行され、大学では障がい学生支援担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有が必要となっています。大学コンソーシアム京都は、そのネットワークの構築をめざして、「関西障がい学生支援担当者懇談会」を主催し、障がい学生支援担当者が意見交換を行える場を創出しています。また、「障がいのある学生への修学支援」をテーマとした研修会や、京都府内の高等学校と大学の教職員による懇談会を開催し、教育機関における障がい学生支援をサポートしています。



京都国際学生映画祭（京都文化博物館）







関西障がい学生支援担当者懇談会（キャンパスプラザ京都）

国際事業

◆留学生スタディ京都ネットワーク

京都への留学生の誘致及び受入環境の整備を推進するため、2015年度に、加盟校・日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、公的機関等のオール京都による連携組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、様々な取組を進めています（2024年度末時点で94団体が加盟）。
国内外への効率的・効果的なプロモーションによる「留学先としての京都」の認知度・ブランド力を高めることで、海外・国内からの京都留学（進学）の促進につなげるとともに、加盟校の留学生誘致活動等の支援や、京都で学ぶ留学生に対し、留学生・日本人学生との交流促進、生活・就業支援など受入環境を整備することで、京都における留学生活の満足度向上を図るなど、「大学のまち・学生のまち」として京都の更なる魅力向上につなげていきます。



京都留学説明会

◆学生の海外留学・交流促進事業

海外留学促進に向けた取組

日本人学生の海外留学促進に向け、無料の英語試験対策講座（IELTS、TOEFL iBT）を実施し、語学学習の支援に取り組んでいます。また、主に海外留学を検討する学生を対象に、京都や日本の伝統文化についての理解を深め、留学中あるいは留学後に京都を訪れている外国人に対して、京都や日本の魅力を英語で伝えることができるよう文化体験や留学生とのディスカッション等を交えて英語表現力やプレゼンテーション力を育むシリーズ講座として、「英語で京都をプレゼンテーション」を開講しています。



英語で京都をプレゼンテーション

◆教職員のグローバル化支援事業

教職員スキルアップ研修

高等教育のグローバル化が加速する中、多くの国と地域からの留学生には、それぞれの文化的背景があり、円滑な意思疎通を図るためには、語学を超えて、習慣や社会通念、宗教等への理解も欠かせないものとなっています。このため、様々な場面を想定したケーススタディができる英語運用能力向上のための研修や英語圏以外の文化を学ぶ研修を実施することで、実務能力の底上げを行うとともに、スキルアップに対する意欲向上を図っています。



教職員スキルアップ研修

調査・広報事業

◆都市政策研究推進事業

京都から発信する政策研究交流大会

都市が抱える課題を見つけ、それを解決するための研究を行う学生に研究成果の発表機会を提供するとともに、大学の枠を超えた交流を深める機会として研究を深化させ、情報発信の場となることを目的に開催しています。
また、本大会の運営を行う学生実行委員会はインカレの活動として定着しており、より充実した大会とするため活動しています。



政策研究交流大会での学生による口頭発表

◆地域連携事業

学まちコラボ事業
(学生と地域をつなぐ学まちコラボ事業)

学生と地域が「コラボ」して京都のまちづくりや地域の課題解決・活性化に取り組む企画・事業に支援金を交付し、取組を支援しています。



活動風景



認定式

大学・地域連携ポータルサイト
「がくまちステーション GAKUMACHI STATION」

京都地域を中心に各加盟校が取り組んでいる、学生と地域や市民が連携・協働した取組（大学やゼミ・サークル単位の取組）など、多様な地域連携活動の支援メニューを総合サイトとしてまとめています。

◆広報事業

京都学生広報部

全国の中高生に向けて、「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を、ウェブサイト「コトカレ」やSNS等で発信しています。学生生活の他、京都ならではのイベントやアルバイト、京都にゆかりのある有名人インタビューなどの記事を紹介し、京都での学生生活の魅力を伝えています。



インタビュー風景



「コトカレ」TOP ページ

京都 B&S（Brother & Sister）プログラム

2014年度から京都市・JTB 京都支店と協働で、京都の大学生が修学旅行生や校外学習生を大学と観光地へ案内する教育旅行プログラムを実施しています。

「大学のまち京都・学生のまち京都」
公式アプリ KYO-DENT（キョーデント）

京都での充実した学生生活を送るための学生向けアプリを開発し、2020年3月から配信しています。アプリを使えば京都市動物園などに100円で入れるほか、学生向けの様々なお役立ち情報を配信しています。



KYO-DENT チラシ

◆共同研究調査事業

第6ステージでは、2015年度から開始した「指定調査課題」のスキームを見直し、調査事業企画検討委員会で選定した課題（加盟校共通の課題、産官学に係る課題、財団事業の課題）に関する調査研究を行います。

その他事業

◆施設管理事業

大学コンソーシアム京都では、京都市から指定管理者として委託を受け、「京都市大学のまち交流センター(愛称：キャンパスプラザ京都)」の管理・運営を担っています。キャンパスプラザ京都は、講義室、演習室、会議室、ホール等の施設を備え、大学の講義や公開講座、研究会といった利用のほか、一般にも施設を開放することで、大学と産業界、地域社会等との連携及び交流を促進しています。

◆全国大学コンソーシアム協議会事務局運営

大学コンソーシアム京都が事務局を担う全国大学コンソーシアム協議会は、国内各地域の大学コンソーシアム（大学連合体・大学連携組織）43団体からなる協議会組織であり、各大学コンソーシアム間の情報交流・研究交流を図る組織として2004年11月に設立されました。各大学コンソーシアムの取組や研究成果等の発表の場として、年1回、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムを開催しています。

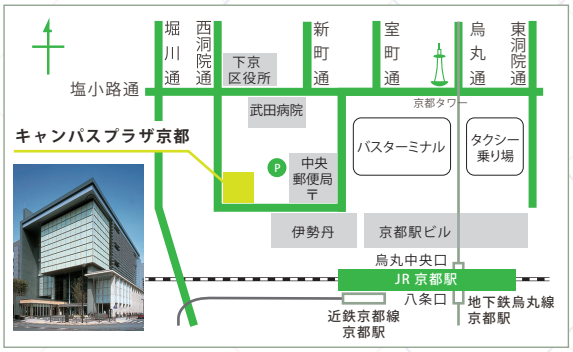
◆勤労学生援助会事務局運営

大学コンソーシアム京都に事務局を置く勤労学生援助会では、学費や生活費をアルバイトや奨学金に頼りながら学業に励み、人物・学業とも他の学生の模範となる学生を表彰し、奨学金を給付しています。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
キャンパスプラザ京都（京都市大学のまち交流センター）
TEL：075-353-9100（代表）／FAX：075-353-9101

https://www.consortium.or.jp/
大学コンソーシアム京都



（2025年7月発行）